



子育てネットワーク委員会なび 1

令和4年度（2022年度）の私たちの活動テーマは

『親も子どもも笑顔になりたい ～そのために今できること～』

【活動テーマに込める想い】

新型コロナウイルス感染の拡大から2年が経過しました。この間、学校ではオンライン授業や分散登校、休校など感染防止に係る対応が進められてきました。また、各家庭でも感染拡大防止のためのさまざまな努力が行われてきました。そのような中、子どもたちのストレスが増え、学校に行けなくなった、やる気が低下したなどの声も耳にするようになりました。

家庭で過ごす時間が増えるとともに、子どもへの接し方に戸惑う保護者の声も聞こえてきました。私たちは、このような時期だからこそ、人と人とのつながりを大切に、ストレスを少しでも軽減させることが必要ではないかと感じています。笑顔は、心を穏やかにする、やる気を引き出す、相手や周囲を笑顔にしていくなどの効果が期待できると言われています。

私たちが、本年度「親も子どもも笑顔になりたい ～そのために今できること～」を活動テーマに掲げた理由はここにあります。笑顔が増える子育ての手がかりを皆さんとともに見つけていきたいと考えています。

2022年4月に入り、部活動や子供たちが楽しみにしていた修学旅行、体育祭などの行事が開催できるようになったことも、大変うれしく思っております。

さて、「子育てネットワーク委員会」は、昨年度まで「女性ネットワーク委員会」の名称で活動をしてきました。近年の家庭教育（子育て）の状況を踏まえ、名称を変更することとなりました。

本委員会は、母親委員会の設置から女性ネットワーク委員会への変遷を経ながら、子どもたちの豊かな心と生きる力を育むために、保護者の役割について考え、『家庭の教育力向上』を目指す活動を展開してきました。その時々¹の社会状況を考慮し、子どもの成長にとって大切と思われる内容を選び出し、家庭の教育力向上（子育て）に役立つテーマを設定し、研修を進めてきました。

しかし、近年、働くお母さんたちの割合が増え、子育てにもお父さんの協力が必要な場面も多くなる一方で、お母さんひとりで、お父さんだけで子育てをしている家庭、時にはおじいちゃん、おばあちゃんが保護者の役割を担うなど、家庭での教育（子育て）に関わる人たちも多様になってきています。

今、私たちは「本委員会の活動にも、多様な立場からの考えや視点を取り入れることの大切さ」を感じています。家庭での教育（子育て）に関わる多くの人たちに本委員会の活動に目を向けていただき、『一緒に家庭教育力を高め、子どもたちの豊かな心と生きる力を育んでいきたい』と考えています。

子どもがすくすくと育つには、『保護者が安心して子育てができる環境づくりや子どもを育てる保護者の心が豊かになる取り組み』が大切です。また、家庭の教育力向上は、先生の負担の軽減（『働き方改革』）にも繋がっていきます。私たちは、そのような環境づくりに貢献していきたいと思っています。

その一環として、令和4年度より「子育てネットワーク委員会」と名称を変更し、当面、現在の組織を生かしながら、家庭での教育（子育て）に関心を持つ皆さま（例：お父さん等の参加）も加え、3年間かけて、よりよい組織づくりと活動内容の更なるブラッシュアップを図っていききたいと考えています。

子育てネットワーク委員会なび 2

茨城県PTA連絡協議会 子育てネットワーク委員会

【子育てネットワーク委員会のあゆみ】

第1期 (昭和54年～) ○昭和54年・・・「母親委員会」として発足

目的 ・県執行部へ女性会員の意見の反映 ・母親としての資質向上

第2期 (平成15年～) ○平成15年「女性ネットワーク委員会」として名称変更

☆幅広い女性への情報発信の意味から名称変更

目的 ・女性の視点で学んだ情報を口コミで伝える。 ・課題を設定した具体的活動の推進

第3期 (令和4年度～) ○令和4年「子育てネットワーク委員会」に名称変更

☆子育てにかかわる多様な立場からの考えや視点を取り入れましょう。

目的 ・家庭での教育（子育て）に関わる多くの人たちと一緒に家庭の教育力を高め、
子どもたちの豊かな心と生きる力を育てていきたい。

【これまで取り組んできた内容】

●平成15～16年度・・・食育 ・「食」を見直し大切さを学び伝える。

●平成17～18年度・・・子どもを取り巻く有害環境 対策

・ケータイ・インターネットに潜む危険から、子どもたちを守る。

●平成19～20年度・・・自尊感情

・「かけがえのないたった一人のあなた」であることを伝える。

●平成21～22年度・・・家族のきずな・コミュニケーションの再生

・愛情のWA（和・話・笑・環・輪）を紡ぎながら我が家のかたちを築く。

●平成23年度・・・命の尊さを伝える

・あたりまえの日常への感謝、かけがえのない命の大切さを伝える。

●平成24～25年度・・・自立へ導く親の役割

・ありのままのわが子を受けとめ、信頼関係を深めながら自立へ導く親の役割

●平成26～27年度・・・親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために

・親も子どもとのつながりを大切にしながら育ちあう。

●平成28年度・・・親と子の自己肯定感・自尊感情を高めるために参加型研修を取り入れた学び合い

・親も子ども学校、地域の人とのつながりを深めながら育ちあう。

●平成29年度・・・学ぼう！伝えよう！大切なこと！ ・子どもたちの豊かな心と生きる力を育てるために

●平成30年度・・・「コミュニケーションについて」

●平成31年度（令和元年度）・・・「大切な我が子を守るために」

・子どもとのコミュニケーションを考えよう

●令和2年度・・・「大切な我が子を守るために」 ・子どもとのコミュニケーションをもっと考えよう

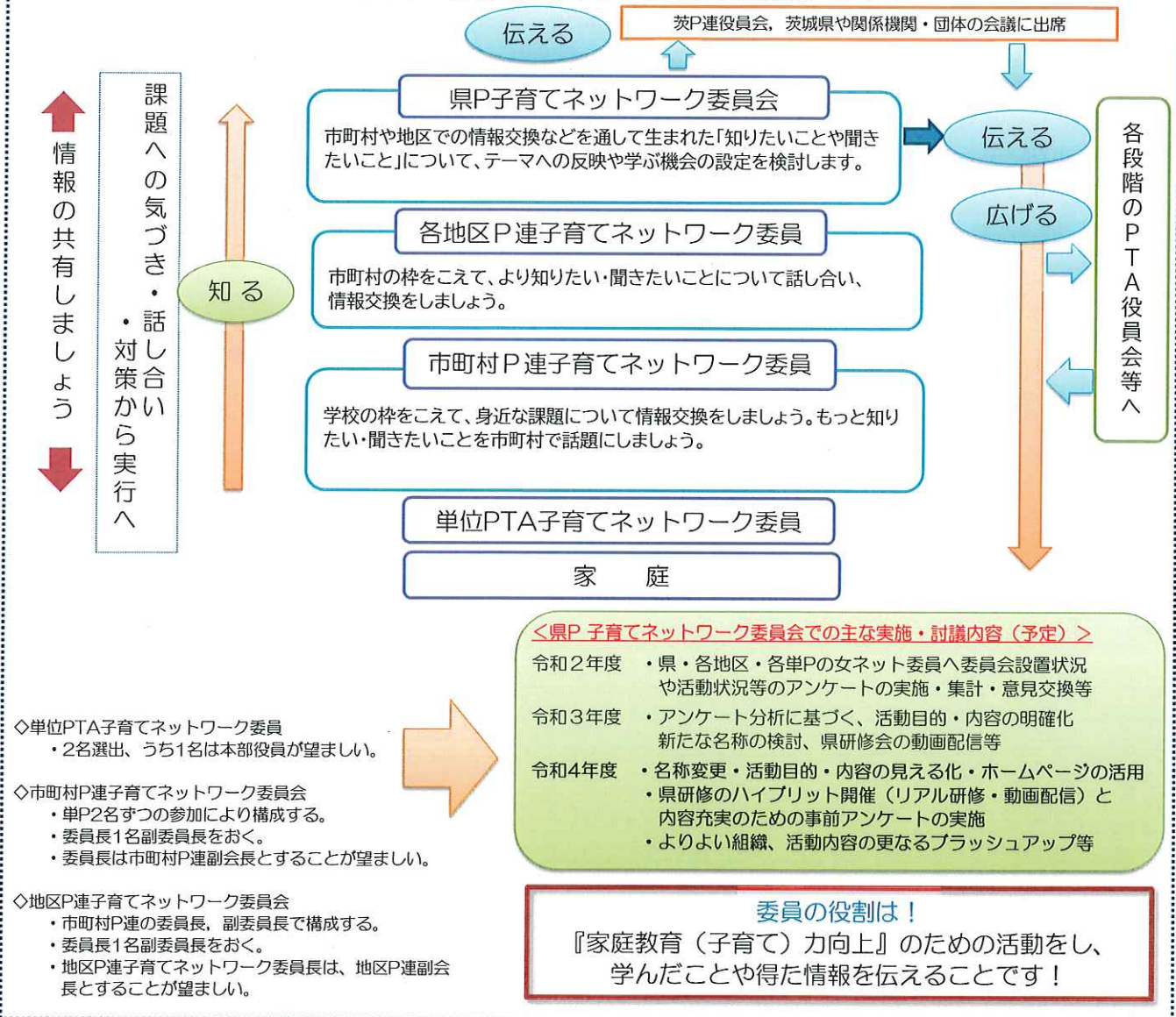
●令和3年度・・・親子のコミュニケーションを深め、子どもの心を見つめよう

～様々なかたちのコミュニケーションツールを活かして～

◎令和4年度 活動テーマ：『親も子どもも笑顔になりたい ～そのために今できること～』

子育てネットワーク委員会なび 3

*** 子育てネットワーク委員会の組織 ***



◇単位PTA子育てネットワーク委員
・2名選出、うち1名は本部役員が望ましい。

◇市町村P連子育てネットワーク委員会
・単P2名ずつの参加により構成する。
・委員長1名副委員長をおく。
・委員長は市町村P連副会長とすることが望ましい。

◇地区P連子育てネットワーク委員会
・市町村P連の委員長、副委員長で構成する。
・委員長1名副委員長をおく。
・地区P連子育てネットワーク委員長は、地区P連副会長とすることが望ましい。

このような会議に関わっています。

茨城県スポーツ振興審議会
つくろう料理コンテスト
茨城県優良図書選定委員会
茨城県図書館協議会
茨城県水戸生涯学習センター運営協議会
茨城県給食会広報編集委員会
茨城県学校給食会評議員会

茨城県学校給食用牛乳供給事業推進会議
茨城県家庭教育推進委員会
茨城県少子化対策推進県民会議
茨城県青少年健全育成審議会
茨城県食育支援連絡会
学校給食用製品開発選定委員会
茨城県ひきこもり相談支援連絡協議会 他



Q&A

Q：子育てネットワーク委員会や研修会には、男性が参加してもよいのですか？

A：子育てネットワーク委員会や研修会は、子育てネットワーク委員だけに限定されるものではありません。

子育てネットワーク委員会は、PTA連絡協議会の常置委員会ですので、子育てネットワーク委員会の活動にご理解、ご協力していただける方なら参加できます。なお、研修会で得た知識や情報は、持ち帰り会員の皆さんに伝えていただければ幸いです。

Q：毎年の活動テーマは、誰が決めているの？

A：各市町村や地区の子育てネットワーク委員会での情報交換の場などで聞かれた問題について取り上げていくようにしています。

最終的には県の子育てネットワーク委員会でそれぞれの地区から出てきた課題について、今どんなことが子どもたちにとって喫緊の課題なのかを話し合い、活動テーマとして掲げていきます。なお、各市町村や地区においては、県の活動テーマを用いても結構ですし、それぞれの市町村や地区での課題や取り組みたいことなどを、独自のテーマを設定して取り組まれてもかまいません。

Q：具体的に、学校で情報を伝えるためには何をすればいいの？

A：2年超に及ぶコロナ感染拡大防止のために、学校行事は徐々に戻りつつありますが、以前に比べ、直接、顔を合わせて伝える機会も少なくなってきたかと思います。まずは身近な人から伝えてみてください。

県Pでは今後、県P活動内容を、定期的に発信していく予定です。そこで、子育てネットワーク委員会の情報も発信していきます。単Pでは役員会などで情報が記載されているチラシを配布したり、PTA広報紙に情報を掲載したりする等、多少のタイムラグが生じることもあると思いますが、広めていきましょう。

Q：コロナ禍の中、他の市町村や地区の委員会ではどんなこと・工夫をしているの？

A：県内の市町村・地区では、オンライン研修会の開催、研修会の縮小開催、市長・町長・教育長との懇談の開催、「家庭で取り組む弁当の日」の実施、給食センター視察などの実践例があります。

いつも通りの開催が難しいタイミングもありますが、無理せず、できることから活動してみましょう。

市町村や地区での委員会の集まりで、子育てに関する悩みなどを情報交換し合うこともよろしいかと思います。

◆子育てネットワーク委員会の主な活動内容



～つながる子育てネット～ 学んだことはPTA会長さんにもお伝えしましょう。

*私たちの活動は、情報をつなぐために人と人との結びつきが大切になってきます。情報を共有するためにも、学校のPTA会員さんはもちろん本部役員さん、市P連役員さんともつながりを大切にしながら活動を進めていきましょう。

また、取り組みを展開する際には、会長さんや校長先生に事前に一言伝えて始めると円滑に進みます。

*学校のPTA活動の中では、より多くの保護者に得た情報を伝える機会をつくっていくことで、子育てネットワーク委員会への理解も深まります。情報が「保護者に必要な情報や知識かどうか」を判断するのは難しい面もありますが、人に伝えることを通して、新たに知りたいことに気づいたり、お得な情報に接することもあります。顔を合わせて、少しずつ「伝える」機会が整えられるとよいですね。

*PTAは、大切な子どもたちの命や未来のために活動をしています。子育てネットワーク委員会も、その支えとなる保護者が、安心して子育てができる環境づくりに向けての取り組みや子どもを育てる保護者が心豊かになれるような取り組みを展開していこうと考えています。

地域の子どもの幸せは、やがて自分の子どもの幸せに結びつきます。そのためにも、より多くの人とのつながりを大切にしながら、明るく楽しい活動を展開していきましょう。



令和4年度 子育てネットワーク委員会 【地区】活動テーマ

県P連 子育てネットワーク委員会【活動テーマ】

『親も子どもも笑顔になりたい』

～そのために今できること～

各地区子育てネットワーク委員会では県の活動テーマを踏まえつつ、それぞれの地区が目指すテーマを設定し、地区の研修会等も実施していきます。

◆中央地区P連 子育てネットワーク委員会◆

『親は子どもの応援団長』～認めることで笑顔を導く～

◆県北地区P連 子育てネットワーク委員会◆

『食べる力は生きる力』～子どもたちの未来のために～

◆県東地区P連 子育てネットワーク委員会◆

『今こそ ゆっくり子育て』～工夫で楽しむ親子の時間～

◆県南地区P連 子育てネットワーク委員会◆

『親と子の心の健康を育もう』～家庭・学校・地域とのつながりを活かして～

◆県西地区P連 子育てネットワーク委員会◆

『見守りたい子どもの成長』～考えよう親力～

令和4年度茨城県PTA連絡協議会 子育てネットワーク委員会

役職	氏名	地区名	所属	役職	氏名	地区名	所属
委員長	美 間 久 美	県東	牛堀中学校	委 員	上 田 玲 子	中央	梅が丘小学校
副委員長	打 越 順 子	中央	勝田第一中学校	同	清 水 悦 子	県北	太田中学校
同	小 林 恵美子	県北	誉田小学校	同	小 貫 香代子	県東	麻生東小学校
同	神 馬 みづき	県東	鹿島小学校	同	浅 川 真 理	県南	文間小学校
同	萩 谷 直 美	県南	黒内小学校	同	小 林 恵	県西	羽黒小学校
同	黒 崎 忍	県西	石下西中学校	顧 問	添 野 真理子	県南	伊奈中学校